

遊文通信

2026.Jan

今回の遊文通信は…

- 2026年 飛躍の想いとともに
- 年末社員総会・忘年会 開催のご報告

株式会社 遊文舎
代表取締役

木原 康裕

2026年 飛躍の想いとともに ～かかわるすべてのみなさまとともに～

遊文舎を支えていただいているすべてのみなさま

いつも遊文舎に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。みなさまのおかげで、遊文舎は厳しい世相の中2025年度も越年し、新年度を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

コロナ禍というワードがすっかり過去のものとなり、日経平均株価はなんと50,000円を超え、金利も大幅上昇。本格的にインフレ施策に舵を切った2025年の日本。個人も企業も悲喜交々、時代の変化をこれまで以上に体感した1年ではなかったでしょうか。金や仮想通貨等投資対象のバリエーションも複雑化し、相対的に現金の価値が下がる中、金融リテラシーを自発的に高めていかないと10年先の未来に明確に大きな影響が出ることでしょう。

ホテルや飲食店の開業の知らせが引きも切らず、消費が堅調なのは街を歩くだけでも体感できます。営業面では消費動向の上振れは多くの企業に福音をもたらすことでしょう。しかしゼロゼロ融資や助成金施策のコロナ恩恵は完全に終了し、金利上昇も相まって事業規模問わず、企業の業績は明暗が大きく分かれているのが現状のようです。残念ながら今は選別淘汰の転換期とも言え、ステージが変わってコロナ禍とは別の意味での本質的に厳しい時代と言えるのではないですか。

今後の課題は更に別のところにあるとも言えます。一気に顕在化した労働力不足の問題。採用難は今後より深刻になり、すべてが速やかにAIで代替できるわけではなく、採用力に乏しい中小零細企業の戦力ダウンは避けられないでしょう。労務環境が整備されていないブラック企業はいうに及ばず、

原資を確保できず十分な昇給ができない企業から成長企業に人材が流出し、企業間格差がますます拡大すると思われます。

99%が従業員300名以下の中小零細企業である私たち印刷事業者も同様で、流出した人材を条件面で他社と競って採用で補うのではなく、今現在働いてくれている従業員の方々との対話を深め、経営理念を共有し、ともにやっていく仲間としての関係性を再構築してゆくことがより肝要となってくるでしょう。営業面ももちろん大切ですがそれ以上に従業員エンゲージメント活動に注力し、そのことにより商品サービスの質を高め、お客様に支持される企業でないと存続できない時代がまもなく到来するでしょう。いや既にそうなっているのかも知れません。

私たち遊文舎はペーパーメディアにとらわれず、WEBやSNSでの情報発信に事業として取り組んでいます。またお客様の支援だけでなく自分たち自身の情報発信もこの『遊文通信』はじめ様々な形で行っています。正確性や速報性のみならずいろいろな意味でのベストの手法を日々研鑽し、混沌とする情報化社会への一助となるよう今後も鋭意活動して参ります。

遊文舎の2025年度の営業活動はお陰様で堅調に推移しており、売上こそ昨対比3,000万程度の減収となりましたが、

生産効率の向上により利益率を改善でき、経常利益も黒字を確保できました。社内体制においてもこの間取り組んできた京都工場立ち上げもすっかり軌道に乗り、従業員一同みな元気に前向きに働いてくれています。今後も幸運もあれば思いもよらぬ危機が訪れることがあるかもしれません。しかし外部環境がいかに変化変容しようとも、私たち遊文舎は従業員一同、関わるすべての人たちのために協力して前を向いて活動して参ります。明るい未来のために躍進の一年となることを期して。

【私たちのスローガン】

育てよう OUR COMPANY!
自ら創ろう OUR GREAT FUTURE!

本年度も遊文舎を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

株式会社遊文舎 代表取締役
木原 康裕

2025年度

年末社員総会・忘年会開催のご報告

昨年12月6日（土）、遊文舎恒例の年末社員総会・忘年会が開催されました。12月は決算月であり、次年度の年度末繁忙期の助走期間であることも含め節目の月。会場は十三のホテルプラザオーサカ。



13時から始まった総会は、まず木原社長からの2025年度の業績含めた振り返りと2026年度の展望が総括されました。お客様だけでなく協力会社様、スタッフにも恵まれ、設備更新も計画通り行われ、経営資源が確保されている状況が共有されました。淘汰選別が加速化している印刷業界にあって、経営基盤を皆で協力して更に強化してゆこうという社長の力強いアピールでした。



続いて労使協定、就業規則の変更や労務関係のレクチャーが経営企画部から行われ、その後は全員でのワークショップが開催されました。テーマは「お互いを、会社をもっと知ろう～みんなで創ろう私たちのUSP」。外部講師を迎へ、8人前後のユニットに分かれ、普段なかなか交流できない拠点毎（大阪・京都・東京）、部門毎（制作・製造・営業推進・経営企画・営業）の業務内容やこだわり・考え方を共有し、みんなで遊文舎のUSPを定義するところをゴールに3時間のワークショップ。活発な議論がなされ、今後の各業務へ背中を押されました。



忘年会

終了後は大忘年会へと移行。1年をお互いにねぎらい、新年度の希望を共有し、十三の夜は更けていきました。



■編集後記

12月も半ばを過ぎ、冬至や大掃除といった年末らしい行事が近づいてきました。遊文舎では年内最終日に社員全員で大掃除をして業務を終了する行事がございます。やり残したことがないように綺麗にした状態で来年を迎えるようにしたいと思います。今年もありがとうございました。

来る新年が皆さんにとって実り多いものとなりますよう願っております。

(原田)

■今月の紙

ユトリロゴロスマット
ナチュラル 菊判 76.5kg